

## 概要

活動地域:神奈川県小田原市

活動期間:2014年4月1日～継続中

活動体制:工学院大学 都市系研究室

UDM(都市デザイン・マネジメント)研究会  
こうめこ (小田原市自主研究組織)

活動キーワード:Placemaking、小田原、生活の質



## 2015年度活動メンバー

M1 鈴木 俊也 / B4 和田 健 齋藤 友博 立石 峻 伊豆 拓也

B3 山口 雄大 藤平 啓太 酒井 友樹 (野澤研究室の学生のみ記載)

# 「小田原のまちに 豊かな暮らしの風景を増やしたい——」

## 活動経緯

小田原市では駅前や中心市街地を中心に、今後数年の間に完成を目指す三大事業が計画されている。これらの事業は小田原の街の将来を左右する重要な事業であり、まちの周辺整備や施設の活用方法、市民参加のプロセス等について行政、市民、事業者といった人々が今一度一緒に考えて考える大きな機会である。

そこで、工学院大学建築学部都市デザイン研究室、都市デザイン・マネジメント研究会、こうめこの3団体が連携し、小田原のまちの調査・分析を進め、これら三大事業とリンクした形でまちの魅力や特徴、課題や改善策を発見・検討する事で、まちの人々との議論のきっかけを提供しようと考えた。

## 活動対象地概要

小田原 Lab. の取り組みは、小田原駅の東側に広がる中心市街地を対象としている。三大事業もこのエリア内に位置しており、小田原城やお堀端通りを含めて、小田原の顔といえるエリアである。特徴の異なる3つのエリアとして、駅前から国道沿いにかけて広がっている商業エリアや、商業エリアと接して南側に広がる水産加工エリア、かつての武家地の面影が残り住宅街が広がる武家地エリアがある。

## 昨年度までの活動内容

2014年度からの3年間を目安に、将来像の構築からパイロットプロジェクトの展開までを実施してきた。初年度は、小田原 Lab. の立ち上げから、基礎調査や DISCOVERY WALK & WORKSHOP の成果に基づいた将来像の構築と、Placemaking のデザインプロセスに則した計画の検討を行ってきた。

また、それらの活動を一冊にまとめた「2014年度 年次報告書」の制作を行った。



# 2015年度の活動内容

## 【KICK OFF MEETING】

昨年度の第1、第2回企画の開催の報告及び2014年度の会計報告、活動結果の共有、2015年度の予算案、会費についての方針検討を行い、史跡用地の今後、蒲鉾通り活性化の取り組み、8月から9月にかけて小田原で行われるシャレットWSについての報告を行った。その後、第三回企画の内容についてWS形式で話し合った。



## 【都市模型製作】

小田原市の「市民活動応援補助金」を活用して、1000分の1サイズで中心市街地エリアの都市模型を製作した。  
今後、しばらくは「おだわら市民交流センター UMECO」の入口付近に常設で展示するが、他団体の等に貸し出しを行い、そのレンタル料で模型の補強や修正を行うことも検討している。



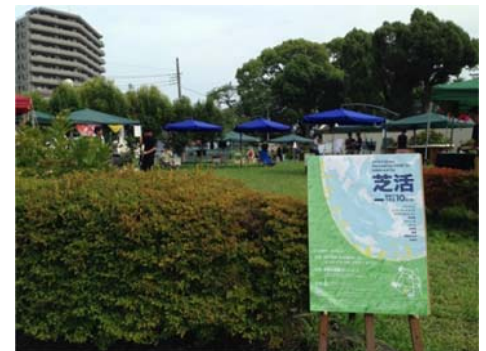
## 【Placemaking Project #3 芝活 ~空地でできる10のコト~】

「小田原のまちに豊かな暮らしの風景を増やしたい」というコンセプトのもと公共的空間を対象にプレイスメイキングの実践を行った。

今回は史跡整備に伴い、芝生化がされているもが、活発に利用がされていなかった弁財天曲輪ポケットパークを対象に複数のアクティビティを提案し、活用される風景をつくることを試みた。

ひとつの空間に、多種多様な人間とそのアクティビティが集まる、豊かな風景を一枚の写真収めることができたこと、史跡広場を市民団体が活用できた初の例となったこと等、多くの成果が上がった。

今回のような企画を誰もが取り組める仕組み、また、企画としてではなく日常的な利用を促す仕掛けとその方法、利用可能であることの衆知について、さらに検討していきたい。



## 【Placemaking Project #4 Street Lounge】

道路空間を対象とした「線のデザイン」という性質を持った企画。地元の方から声をかけていただき、「小田原まちなか市場実行委員会」主催で行われる「小田原まちなか軽トラ市」に協力という形で参加し、軽トラ市の入り口部分、銀座通り商店街の交差点付近の幅6m×長さ10mの範囲を、休憩・飲食・歓談スペースとして作り変えた。

今回はLQC(より簡単に、素早く、安価に)の手法を用いた空間デザインをうまく実践できた。軽トラ市への来場者たくさんの市民の皆さんに活用してもらうことができ、特に地元商店街との関係が強い企画だったために、来場者だけでなく、地元事業者の方との関わりができた。市民の公共空間に対する意識を少しでも変えることができたのではないかとと思われる。

